

令和4年度 第1回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和4年5月13日(金)	14:00~16:35
場 所	WEB会議/議長 琉球大学医学部 臨床研究棟1階 大学院セミナー室	
構 成 員	36名(出席者25)	
(出席者)		
3号委員	(県立宮古病院長)	岸本 信三
	(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
5号委員	(沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子
7号委員	(沖縄県看護協会会長)	平良 孝美
10号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11号委員	(琉大がんセンター運営委員会委員長)	青木 陽一
13号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳(代理出席:諸見 牧子)
14号委員	(琉大看護部長)	眞栄城 智子
16号委員	(県立中部病院副病院長)	前田 純子
	(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇(代理出席:森 隆弘)
	(那覇市立病院副院長)	宮里 浩
	(那覇市立病院がん看護専門看護師)	東恩納 貴子
17号委員	(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
	(県立宮古病院副院長)	新崎 博美
	(県立八重山病院消化器内科部長)	菊池 馨
	(県立八重山病院副院長)	石田 浩子
18号委員	(NPO 乳がん患者の会 ぴんく・ばんさあ代表)	与儀 淑恵
	(やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)会長)	田盛 亜紀子
	(サバイバーナースの会「ピアナース」代表)	上原 弘美
	(パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	島袋 百代
19号委員	(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
	(一般社団法人グループ・ネクス理事長)	天野 慎介
	(琉球新報編集局次長・報道本部長)	島 洋子
20号委員	(琉大病院病理部長)	和田 直樹
	(那覇市立病院放射線科部長)	足立 源樹
(欠席者)		
1号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2号委員	(県立中部病院長)	玉城 和光
	(那覇市立病院長)	外間 浩
3号委員	(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好
6号委員	(沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子
9号委員	(沖縄県保健医療部長)	糸数 公
12号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生
15号委員	(琉大事務部長)	加藤 善一
17号委員	(北部地区医師会病院副院長)	柴山 順子
	(北部地区医師会病院看護部長)	我如古 春美
(陪席者)		
	沖縄県教育庁保健体育課長	城間 敏生
	沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	新垣 真太郎
	琉球大学病院診療情報管理センター	有賀 拓郎
(以下、Zoom傍聴申込)		
株式会社ダイコー沖縄病院、ハートライフ病院、ほか		

資料確認等

1. 令和4年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(4月11日開催)
2. 令和3年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(2月4日開催)
3. 令和3年度第4回沖縄県がん診療連携協議会議事録(2月4日開催)
4. 令和4年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員(10号委員)から資料について確認があった。

また、青木委員長代行から、資料4の協議会名簿に基づき、委員についてアナウンスがあり、委員からそれぞれ挨拶があった。

報告事項

1. 協議会・幹事会・部会新委員について

増田議長から資料5に基づき、沖縄県がん診療連携協議会組織図及び協議会・幹事会・部会委員の確認があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(19号委員)から資料6に基づき、「沖縄県がん対策関連データのアップデート」について報告があった。

市町村別、都道府県別でのがん死亡率の推移、医療圏別超過死亡数、遺族調査結果、がん部位別化学療法実施状況、遺伝子マーカー等検査実施状況、免疫チェックポイント阻害薬使用状況について説明があった。沖縄県連携協議会として、重要データを恒常的・定点観測的に収集し、確認や必要なディスカッションをするのが望ましいとの報告があった。

(主な確認事項)

Q.島袋委員:沖縄県において死亡率が上昇しているがん種もあるが、県として改善に向けて検討していることはあるか。

A.新垣氏 :確認して個別に回答する。

※別途回答より

第3次沖縄県がん対策推進計画において「科学的根拠に基づく、がん予防・がん検診の充実」「患者本位のがん医療の実現」「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」の3つを全体目標とし、県及び関係機関は沖縄県のがんの罹患率・死亡率減少に向けて取り組んでいる。

生活習慣の改善や感染に対して適切な治療を実施することによってがんを予防し、がんの罹患率を減少させ、定期的ながん検診を受診していただくことでがんを早期に発見し、がんの死亡減少を図っている。

また、がん医療を推進するため集学的治療や緩和ケア等の提供に取り組み、医療提供体制の推進を図るなど、がん医療の均てん化、集約化を進めている。

さらに、がん患者が住み慣れた地域社会で生活できるよう環境を整備している。

県では、生活習慣病等健診管理協議会を設置し、がん検診の充実強化、精度管理の向上に向けた取組を実施している。

そのほか、「地域統括相談支援センター」を設置(琉球大学病院に委託)し、ピアサポーターによる相談業務やピアサポーター養成研修の開催、患者会等との意見交換などを実施している。また、拠点病院等は整備指針に基づき「がん相談支援センター」を設置し、相談業務を実施している。

Q.島委員 :沖縄県の中でも市町村によってがん死亡率に違いがあるが、各市町村はそのことを把握しているのか。また、そのことについて検討する場が沖縄県にあるのか。

A.新垣氏 :確認して個別に回答する。

※別途回答より

第3次沖縄県がん対策推進計画の評価・進捗管理のため、人口動態統計や全国がん登録情報を用いて県のがんの罹患、死亡について集計している。

また、市町村ごとのがん罹患数や主要がんの発見経緯別進展度について、本県のがん登録事業報告書に掲載し、各市町村に配布している。がん検診などの各市町村の取組の参考にしていただくことを目的としている。

なお、市町村ごとの死亡数(率)については人口動態調査(厚生労働省)より参照可能だが、県として集計等はしていない。

A.増田委員:個別の疾患を検討する場合は、県には無かったと思う。大腸がん死激減プロジェクトは毎月一回会合を開いている。

Q.田盛委員:石垣市の女性の肺がん死亡率が高いのはなぜか。

A.増田委員:次回の協議会までに調査をして回答する。

2. 天野委員報告

天野委員(19号委員)から、資料7に基づき報告があった。

日本医学会・日本医学連合会と日本医師会が「遺伝情報・ゲノム情報による不当な差別や社会的不利益の防止」についての共同声明を出しており、それを受ける形で一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会と一般社団法人全国がん患者団体連合会も連名で「遺伝情報・ゲノム情報による差別や社会的不利益の防止のための法規制を求める共同声明」を出している。国も全ゲノム解析等実行計画に向けた検討を進めている。

その他、院内がん登録データからみた新型コロナウイルス感染症流行下におけるがん診療の状況について

増田委員(10号委員)から当日配布資料に基づき報告があった。

今回は院内がん登録を用いて資料を作成している。全国では2020年の緊急事態宣言が発出されていた5月は、がん検診発見例、検診以外の発見例ともに減少している。沖縄県では、緊急事態宣言が発出されていた5月及び8月にがん検診発見例、検診以外の発見例ともに減少している。自覚症状などの発見例も減少しているため、一定の受診控えが生じていた可能性が考えられる。

審議事項

1. 今年度の協議会の活動方針について

増田委員(10号委員)から資料9に基づき説明があった。今後の協議会については、委員の方から意見を聴取し、それを受けて7月に行われる幹事会で検討していきたい。

天野委員より、特定のがん種や、特定の地域に対してより重点的な対策をするべきではないかとの意見があった。

埴岡委員より、今後の活動方針について、がんのデータや各委員が日々疑問に感じていることを議題に上げ、問題解決型のディスカッションができればいいのではないかと意見があった。

2. 北部、宮古及び八重山医療圏における各種がんに対する治療の現状の Web 上の公開について

増田委員(10号委員)から資料10に基づき説明があった。現在は令和3年度の情報が掲載されているが、5月中には今年度の情報に更新する予定である。

天野委員より、各病院の対応について△の表示があるが、△だと患者が受診していいかどうか迷う可能性があるため、△の内容について追記説明が必要ではないか、また、症例についても何年の症例なのか記載した方が分かりやすいのではとの意見があった。

増田委員から、各病院に△の詳しい事情を自由記載欄に記載いただき、その内容を反映したいとの回答があった。また、症例については全て2020年の症例である旨の回答があった。

上原委員より、ネット検索する際、どのワードで検索すれば、当 Web ページにたどり着けるのかとの質問があった。

増田委員より、その点については、今後検討していきたいとの回答があった。

3. 第3次沖縄県がん対策推進計画の評価のための医療者調査について

増田委員（10号委員）から資料11に基づき説明があった。7年前に沖縄県で行った調査と、2年前に秋田県で行った調査をベースに質問項目を作成していきたい。次回8月の協議会では最終版の調査票を確認する予定である。

上原委員より、前回の調査結果について、がん対策推進計画の中間評価の他に調査結果について協議する場があったのか、また、回答する医療者の自由記載欄があった方がいいのではないかとの意見があった。

増田委員より、各部会でデータを共有して検討はしたが、まだ不十分などところがあるので、今後改善していきやすいようにしていきたいとの回答があった。

報告事項

2. 昨年度の本協議会の実績について

増田委員（10号委員）から資料12に基づき報告があった。

3. 第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について

沖縄県健康長寿課新垣氏から、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について、進捗状況等の報告があった。

4. 患者会よりの報告

島袋委員（18号委員）から資料13に基づき、「オンライン患者会開催」と「膵臓がん早期発見に向けて」の報告があった。

5. がん教育について

沖縄県教育庁保健体育課長城間氏から、資料14に基づき、学校におけるがん教育の取組について報告があった。

6. 大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について

増田委員（10号委員）から資料15に基づき、「大腸がん相談室開設のお知らせ」について報告があった。

（以下については、紙面報告となった）

7. がんゲノム医療について

8. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

11. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

(1) 第76回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第28回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医療薬品等安全対策部会安全対策調査会

(2) 第47回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会

(3) 第18回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会

(4) 第19回厚生科学審議会がん登録部会

(5) 第78回がん対策推進協議会

(6) 第34回がん検視のあり方に関する検討会

(7) 第3回小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法に関する検討会

(8) 第20回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会議

(9) 第21回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会議

12. その他（特になし）

(以下については、紙面報告となった)

部会報告事項

1. 医療部会
2. 緩和ケア・在宅医療部会
3. 小児・AYA部会
4. 離島・へき地部会
5. 情報提供・相談支援部会

以上